

サイシン（細辛）



photo by Qwert1234 CC-BY-SA, from Wikipedia Commons

語源

ウスバサイシン属 *Asiasarum* は、ラテン語で「アジアのAsarum（カンアオイ属）」の意。ウスバサイシンとカンアオイは共に葵に似た葉だが、「寒葵」というように冬場でも枯れない（枯れにくい）のに対し、「薄葉」サイシンは夏緑性で冬は枯れて、葉も薄い。種小名の *sieboldii* は「シーボルトの」という意味で、博物学者のシーボルトにちなんでいる。

細辛という名は、根が細く、口に含むと口の中がしびれるような辛さがあるため。

基原

Asiasarum sieboldii F. Maekawa

ウスバサイシン

Asiasarum heterotropoides F. Maekawa

var. *mandshuricum* F. Maekawa

ケイリンサイシン

ウマノスズクサ科 多年生草本



薬用部分

根及び根茎

産地

中国、韓国、日本（長野、石川、新潟）

主な成分

精油：メチルオイゲノール、β-ピネン、サフロール、オイカルボン、リモネン、シネオール

アルカロイド：ヒゲナミン

辛味成分：ペリトリン

主な薬効

鎮咳、去痰、解熱、鎮痛

代表的処方

漢方処方用薬であり、鎮咳去痰薬、鎮痛薬とみなされる処方及びその他の処方に少数例配合されている。また、鎮咳薬として配合剤に用いられることもある。

【小青龍湯】

ショウセイリュウトウ

体力中等度又はやや虚弱で、うすい水様のたんを伴うせきや鼻水が出るものの次の諸症：気管支炎、気管支ぜんそく、鼻炎、アレルギー性鼻炎、むくみ、感冒、花粉症

（処方内容） 麻黄／芍薬／乾姜／甘草／桂皮／細辛／五味子／半夏

【当帰四逆湯】

トウキシギャクトウ

体力中等度以下で、手足が冷えて下腹部が痛くなりやすいものの次の諸症：しもやけ、下腹部痛、腰痛、下痢、月経痛、冷え症

（処方内容） 当帰／桂皮／芍薬／木通／大棗／細辛／甘草

【当帰四逆加呉茱萸生姜湯】

トウキシギャクカゴシュユショウキョウトウ

体力中等度以下で、手足の冷えを感じ、下肢の冷えが強く、下肢又は下腹部が痛くなりやすいものの次の諸症：冷え症、しもやけ、頭痛、下腹部痛、下痢、月経痛

（処方内容） 当帰／桂皮／芍薬／木通／細辛／甘草／大棗／呉茱萸／生姜

【麻黄附子細辛湯】

マオウブシサイシントウ

体力虚弱で、手足に冷えがあり、ときに悪寒があるもの次の諸症：感冒、アレルギー性鼻炎、気管支炎、気管支ぜんそく、神経痛

（処方内容） 麻黄／細辛／加工ブシ

※参考文献：「生薬単」「日本薬局方」「中薬大辞典」「牧野和漢薬草大図鑑」「和漢薬の事典」「漢方のくすりの事典」「一般用漢方製剤承認基準」

⚠ この資料は業者間取引用の説明資料です。一般消費者の方への販促資料としてはお使いにならないようお願いいたします。



健やかな未来を創る自然の力

福田龍株式会社

（お問い合わせ） 〒530-0047大阪市北区西天満1-5-11

TEL：06-6364-5861 FAX：06-6364-6562

URL：www.fukudaryu.co.jp